

港湾における地震・津波対策セミナー

3・11の教訓と 次なる巨大地震・津波への備え

令和3年（2021年）11月5日（金）

（世界津波の日・津波防災の日）

13:30～16:05

港湾における地震・津波対策セミナー

開催趣旨

平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」から10年という節目を迎え、また「南海トラフ地震」や「首都直下型地震」発生の切迫性が高まっている状況の中、港湾関係者を対象に、学識経験者による地震・津波の港湾への影響に関する講演のほか、行政や事業者、団体による地震・津波対策の取組みを紹介することにより、地震・津波防災への意識の高揚を図るとともに、今後の取組みの一助としていただくため。

開催概要

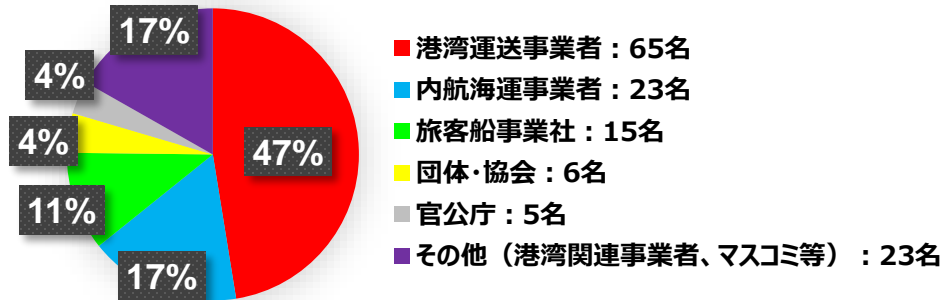
日時：令和3年11月5日（金）13:30～16:05
 ※11月5日「世界津波の日」、「津波防災の日」

場所：関東運輸局 会議室

方法：Microsoft Teamsによるオンライン配信

主催：関東運輸局 海事振興部 貨物課、港運課

参加者：港湾関係者 137名



小瀬局長による開講の挨拶



中村次長による閉講の挨拶

港湾における地震・津波対策セミナー

プログラム

司会：関東運輸局 海事振興部 次長 前田 良平

13:30 開講の挨拶	関東運輸局長 小瀬 達之
13:35 基調講演	「東京湾における沿岸災害 ～津波・高潮への備え～」 早稲田大学理工学術院 柴山 知也 教授
14:20 関東運輸局の 取組報告	「東日本大震災当時の関東運輸局管内の被災状況と対応について」 関東運輸局 海事振興部 港運課長 山下 明
14:30 行政の 取組紹介	「東京都における津波防災対策について」 東京都 総務局 総合防災部 防災計画課 課長代理 石井 愛士 氏
14:45	休 憩
15:00 海運事業者の 取組紹介	「次なる地震・津波への対策」 商船三井フェリー株式会社 安全統括管理者 中園 隆二 氏
15:15 港運事業者の 取組紹介	「3.11東日本大震災からの教訓と対策」 日立埠頭株式会社 勤労部 部長代理 大山 政弘 氏
15:30 関係団体の 取組紹介	「東京港運協会の東京港防災対策について」 一般社団法人東京港運協会 事務局長 近田 毅彦 氏
15:40 質疑応答	各講演者
15:50 総括	早稲田大学理工学術院 柴山 知也 教授
16:00 閉講の挨拶	関東運輸局次長 中村 広樹

【柴山知也教授プロフィール】



1953年東京都文京区本郷生まれ。
 東京大学工学部土木工学科卒、
 同大学院工学系研究科修士課程修了。
 工学博士。
 専門は、土木工学（海岸工学、海洋開発、
 沿岸域防災、津波・高潮、建設社会学）。
 海外における津波・高潮被害の調査隊長を
 数多く務める。
 現在は、日本沿岸域学会会長を務めている。

港湾における地震・津波対策セミナー

基調講演

演題 : 東京湾における沿岸災害 ～津波・高潮への備え～
講演者 : 早稲田大学理工学術院 柴山 知也 教授

【概要】

- ・ 津波発生メカニズム、科学的な分析による津波の脅威について
- ・ 海外での津波・高潮の事例や調査結果について
- ・ 日本における津波・高潮の事例と今後の対策について



関東運輸局の取組報告

演題 : 東日本大震災当時の関東運輸局管内の被災状況と対応について
講演者 : 関東運輸局 海事振興部 港運課長 山下 明

【概要】

- ・ 東日本大震災による関東運輸局管内の港湾の被災状況（主に茨城県内）について
- ・ 震災当時の関東運輸局の非常時の体制・対応等について



行政の取組紹介

演題 : 東京都における津波防災対策について
講演者 : 東京都 総務局 総合防災部 防災計画課 課長代理 石井 愛士 氏

【概要】

- ・ 東京都沿岸部に津波の影響を及ぼす地震の規模について
- ・ 津波による被害想定（島しょ部を含む）について
- ・ 現在、東京都が行っている津波防災対策に関する取組について



港湾における地震・津波対策セミナー

海運事業者の取組紹介



演題 : 次なる地震・津波への対策

講演者 : 商船三井フェリー株式会社 安全統括管理者 中園 隆二 氏

【概要】

- ・東日本大震災当時の茨城県大洗港フェリーターミナルの被災状況と、停泊していたフェリーの緊急避難の状況について
- ・フェリーの特殊性を踏まえた海側と陸側からの津波対策・取組みについて

港運事業者の取組紹介

演題 : 3.11東日本大震災からの教訓と対策

講演者 : 日立埠頭株式会社 勤労部 部長代理 大山 政弘 氏

【概要】

- ・茨城港に事務所が点在している状況下における東日本大震災当時の被災状況について
- ・東日本大震災発生前の自社の津波対策と発生後の改善点等について
- ・現在のソフト面とハード面からの津波対策と今後の課題について



関係団体の取組紹介



演題 : 東京港運協会の東京港防災対策について

講演者 : 一般社団法人東京港運協会 事務局長 近田 毅彦 氏

【概要】

- ・東京港BCPにおける東京港運協会の役割（①国際コンテナ物流、②災害時の緊急物資受入）
- ・東京港運協会が作成し各事業者に配付している「震災時マニュアル」について
- ・日本港運協会のBCP策定支援ツールについて

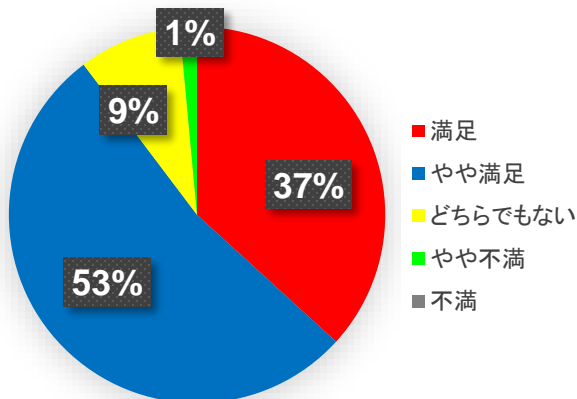
港湾における地震・津波対策セミナー

柴山教授による総括

- ◆被災した時は様々なことが起こり、被災地では現地の方々がそれらの出来事に対応しなければならない状況になる。本日は、東京都、商船三井フェリー株式会社、日立埠頭株式会社、一般社団法人東京港運協会、それぞれの立場から業務上の津波対策・対応について講演をいただき非常に参考になった。
- ◆津波対策としては、それぞれの被災した地域社会で世代を超えて、どう津波の記憶を残していくかが重要である。それには「マニュアル化」「訓練」「マニュアルの改定」が有効である。日常からマニュアルを浸透させ、震災時にはマニュアルを超えた対応が出来るよう訓練し、必要があればマニュアルの改定を進める。
- ◆今後も定期的に東日本大震災当時の事を思い出しながら対策を考えていくことが大切である。

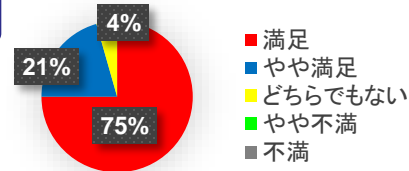
アンケート結果

セミナーの満足度

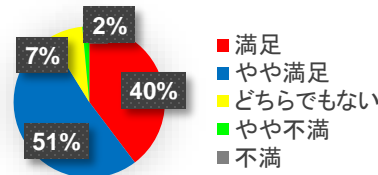


※回答者数：68名

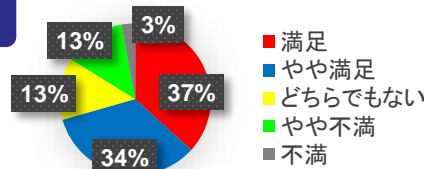
テーマ



内容



時間



寄せられた要望・コメント等

- ・官文民それぞれの視点からの講演内容であり勉強になりました。
- ・今回の講習では他社での対応や対策を聞くことができ、自社での対応を改めて見直す良い機会となりました。
- ・商船三井フェリー様の人命を第一に考える避難訓練など、本気で取り組まれている姿は見習わなければなりません。
- ・当社は、港湾運送事業者であるため同業者である日立埠頭株式会社様の発表は、参考になりました。
- ・東京港だけでなく横浜港や川崎港の港湾施設の状況などについても知る事が出来ればよかったですと思います。
- ・事業者の方の取組紹介の時間が短いように思われました。事業者の発表を多くして頂けると参考になると思います。
- ・東日本大震災から10年が経過し、今一度記憶を辿る行為へと導いて頂いた点、感謝申し上げます。